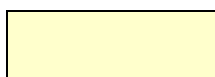


## 完了実績報告書 記入例

この記入例では、入力方法の種類ごとに色分けして説明しています。



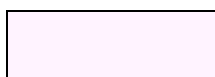
黄色は 補助事業者が入力する項目です



緑色は 自動で入力される項目です



青色は 建築士が入力する項目です



桃色は 手書きで記入する項目です



灰色は 事務局で使用する欄です

# 完了実績報告書（交付申請番号入力シート）記入例 ＜評価基準型・単価積上方式＞

※この入力シートは提出の必要はありませんが、必ず確認・入力してください。入力をしないと他の様式類の計算が正しく表示されません。

## ＜交付申請番号入力シート＞（完了実績報告用）

- 1 交付申請番号を入力してください。

評価基準型の場合は「1」が付番されています

交付決定通知書に「交付申請番号」が記載されています。

交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号			
	29	1	2	3	4	5	6	7	8	1	0	0	1

※ここに入力した交付申請番号は各様式の上部に反映されます。

※完了実績報告後に、事業者ポータルサイトで再度ご提出していた完了実績報告の記載

交付決定通知書に記載されている交付申請番号を転記してください。

※ここに入力がない場合、他の様式類の計算が正しく表示されません。

※完了実績報告後に、上記に入力した補助金交付申請番号や様式内の記載事項の誤記が見つかった場合や、様式の記載事項の修正が必要になった場合は、様式を再度ご提出していただきます。  
交付申請番号や様式の記入事項に間違いがないか、もう一度確認してください。

- 2 「申請タイプ」「事業タイプ」を確認してください。

申請タイプ	通年申請タイプ
事業タイプ	評価基準型

※交付申請時と同じであることを確認してください。  
異なっている場合は、「●1」で入力した交付申請番号を確認してください。

- 3 注意事項

- (1) 提出書類に不足はありませんか。  
次のシート「提出書類チェックシート（完了実績報告用）」で確認してください。  
揃っていることを確認したら「チェック欄」に印を付け、完了実績報告書と一緒に提出してください。
- (2) 作成した様式データの最終版は、必ず保存してください。

必ず確認してください

完了実績報告書（チェックシート）記入例  
 <評価基準型・単価積上方式>

提出書類は表の番号の順にまとめ、A4フラットファイル(縦)に綴じて提出してください。

チェックシート(完了)A

事業タイプ 評価基準型	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号				
		2 9 -	1	2	3	4	5	6	7	8	-	1	0	0	1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

提出書類チェックシート（完了実績報告用）A

シートは次の申請に対応したものです。

事業タイプ 評価基準型・提案型	長期優良住宅(増改築)認定 取得しない	補助金算出方式 単価積上方式
--------------------	------------------------	-------------------

交付申請時に作成した最終版の様式を使用してください。変更があった場合は、変更後の最終版の様式を使用してください。

番号	提出書類	適用	申請者 チェック欄	* 支援室 記入欄
①	11 平成29年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金完了実績報告書(兼、請求書)	必須 この様式のみ事業者ポータルサイトからダウンロード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	— 提出書類チェックシート(完了実績報告用) ■このシートです■	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③	12 完了実績報告概要書	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④	13 建築士による工事内容確認書	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦	8 リフォーム後の住宅性能に係る基準等の適合状況確認書及び補助工事単価積上方式による補助対象工事費の算出表	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨	— 工事内容を確認した建築士の建築士免許証の写し	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩	— 工事内容を確認した建築士が所属する建築士事務所登録証の写し(確認費用を補助対象とする場合)	確認費用を補助対象とする場合	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑬	14 リフォーム工事箇所の工事写真	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑭	— リフォーム瑕疵保険の付保証書の写し	費用を補助対象とした場合	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑮	— リフォーム工事の費用の支払いが確認できるもの(領収書等)	必須	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑯	— インスペクション等*の費用の支払いが確認できるもの(領収書等)	補助対象とする費用に限る	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑰	4 交付申請概要書	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑲	7 建築士によるリフォーム後の住宅性能に係る基準の適合確認書(評価基準型等)	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑳	— リフォーム後の住宅性能に係る基準の適合を確認した建築士の建築士免許証の写し	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉑	— リフォーム後の住宅性能に係る基準の適合を確認した建築士が所属する建築士事務所登録証の写し	確認費用を補助対象とする場合	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉒	— 「リフォーム後の住宅性能に係る基準の適合状況確認書」で建築士が適合確認のために用いた図書等	変更に関する技術的審査のみで使用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉓	9 交付申請額算出表(単価積上方式用、共同住宅(単価積上方式及び補助率方式併用)用)	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉔	— 維持保全計画書の写し	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉕	— リフォーム工事箇所、工事内容、工事の数量がわかる図面(平面図、立面図、詳細図、仕様書など)	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉖	— 変更に関するリフォーム工事の請負契約書等の写し、及びその内訳書	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉗	— 変更に関するインスペクション等*に関する契約書等の写し	(必須)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉘	— その他支援室が確認に必要と判断するもの	支援室が提出を求めた書類がある場合	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

必要書類が揃っているか確認し、手書きでチェックしてください。提出不要なのは斜線を引いてください。

(注) 申請者チェック欄は、書類を確認したら「し」印を、該当しない場合は「/」斜線を引いてください。

◆ 交付申請時に作成した様式を活用し、様式右側の「工事完了時建築士チェック欄」により、リフォーム完了後にこの様式のとおり工事が行われたことを建築士の現地確認により確認した項目にチェックを入れ完了実績報告時に提出してください。

(必須) リフォーム工事の内容や事業費の増減を伴う変更等により交付申請時から変更となる場合に提出が必要です。

※ インスペクションの実施、リフォーム工事の履歴情報としての図面作成等、維持保全計画の作成及びリフォーム瑕疵保険への加入を表す

交付申請時から変更がある場合に提出必要な書類です。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H29】長期優良住宅化リフォーム推進事業

完了実績報告書（様式11）記入例  
 <評価基準型・単価積上方式>

事業者ポータルサイトからダウンロードし印刷してください。

この記入例で 緑色 になっている部分は自動入力されます。記載に変更がある場合は、支援室にご連絡ください。変更の手続きをご案内します。変更の手続きが完了しましたら、印刷し直してください。

様式11

事業タイプ 評価基準型	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号			
		29	1	2	3	4	5	6	7	8	1	0	0	1

報告日 平成 30 年 2 月 9 日

長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室 殿

平成29年度長期優良住宅化リフォーム推進事業完了実績報告(兼、請求書)

平成29年6月24日 付け29長リ01第 0100-12345678-1001号をもって交付決定の通知を受  
 完了したので、平成29年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金交付規程第10第1項の  
 関係書類を添え、下記のとおり報告します。  
 また、長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室が、本報告書に基づき、交付すべ  
 を確定したときは、同規程 平成29年度長期優良住宅化リフォーム推  
 進事業補助金に係る国庫補

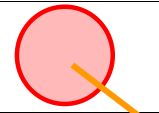
提出する年月日を油性の  
ボールペンで記入してください

交付決定通知書右上の日付、  
番号を記入してください

補助事業者

Ver. 1.0

法人・個人事業主 等の名称	カガナ カブシキガイシャ		支店・ 事業所名	カガナ
代表者	氏名	カガナ	役職等	代表取締役
法人・団体等の 住所	〒 123 - 4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇			
電話番号	012-345-****	法人番号	123456789****	



法人の場合は会社の代表者印です。代表者の個人の印ではありません。

交付申請する住宅の所在地等

住宅の所在地 (住居表示)	〒 123 - 4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇		
建物名称		部屋番号	

交付申請書に押印した印と  
同じ印

工事発注者（共同事業者）※補助事業者が買取再販業者の場合は記入不要です。

名称・氏名	カガナ
住所	〒 123 - 4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇

補助金の交付決定額及び精算額

補助金の交付決定額	1,200 千円
補助金の精算額	1,200 千円

「補助金の交付決定額」は交付決定通知書の  
「交付決定額」、  
「補助金の精算額」は変更がなければ  
「交付決定額」を、変更があれば  
「変更後の補助額」を記入してください

補助事業の実施期間

平成29年6月26日 ~ 平成30年1月21日

工事請負契約書に記載された工期の始期から  
終期（引き渡し日）を記入してください  
工期を変更した場合は変更後の工期を記入し  
てください

補助事業の成果

別添書類のとおり

補助金の請求

請求額	交付すべき補助金の額として、支援室が確定した額とする。
振込先	事業者ポータルサイトに登録した振込口座とする。

(注意事項)

- 完了実績報告書は、1住戸（共同住宅・長屋で建物の全体の工事を含む場合は1棟）につき1枚作成してください。
- 修正液、訂正印での修正はできません。記載事項に誤りがある場合は、事業者登録システムの情報を修正し、再度印刷してください。
- 記入、押印漏れ、提出書類の不足がある場合は、完了実績報告の受付は行いません。
- 報告日の記入が漏れていた場合は、完了実績報告書の到着日を報告日として扱います。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H29】長期優良住宅化リフォーム推進事業

完了実績報告書（様式12）記入例  
 <評価基準型・単価積上方式>

・交付申請時から一切の変更がない場合でも様式は提出してください  
 ・交付申請時から変更がある場合は、支援室に連絡ください。手続き等をご案内します。

様式12

交付申請手続きや変更に関する手続きを行った後から一切の変更がない場合や、下記の欄「変更の内容」に該当する項目がない変更の場合はチェック不要です

交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号					
	2	9	-	1	2	3	4	5	6	7	8	-	1	0	0

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

完了実績報告概要書

●共通

交付変更承認申請手続きの必要が無い変更の有無

<input checked="" type="checkbox"/>	交付申請時から変更がある	→ 「変更の内容」「工事費の変更」「補助額の変更」の欄の該当する項目にチェックしてください。
変更の内容 (何れかにチェック)	<input type="checkbox"/>	特定性能向上リフォーム工事に関するもの
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他性能向上リフォーム工事に関するもの
	<input type="checkbox"/>	三世帯同居対応改修工事に関するもの
工事費の内容 (何れかにチェック)	<input type="checkbox"/>	補助対象工事費の変更無し
	<input checked="" type="checkbox"/>	補助対象工事費の変更有り
補助額の内容 (何れかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/>	変更無し
	<input type="checkbox"/>	減額の変更有り

変更がある場合は項目ごとにいずれかをチェックしてください

インスペクションで確認した劣化事象の対応が交付申請時から変更がある場合はチェックし維持保全計画書を修正のうえ提出してください  
 変更がない場合はチェック不要です

以下は、該当する欄を記入してください ~~~

●インスペクションで劣化事象を確認した場合

劣化事象に対する対応	<input checked="" type="checkbox"/>	交付申請時から変更がある	→ 変更後の対応をチェックし、変更後の維持保全計画書を添付してください。
	<input type="checkbox"/>	全て補修した	
	<input checked="" type="checkbox"/>	維持保全計画書に補修・点検等の対応内容及び時期を定めた	
	<input type="checkbox"/>	一部を補修し、他は維持保全計画に補修・点検等の対応内容及び時期を定めた	

●高度省エネルギー型の場合

変更の有無	<input type="checkbox"/>	交付申請時から機種等の変更がある	→ 変更後の内容でBELS評価書を取得の上、下記に値を入力し、BELS評価書(写し)も提出してください。
A	単位面積当たりの一次エネルギー消費量の設計値(その他除く)	(MJ/㎡・年)	【太陽光発電を設置していない場合】 $A/B \leq 0.8$
B	単位面積当たりの一次エネルギー消費量の基準値(その他除く)	(MJ/㎡・年)	
C	太陽光発電による削減量	(MJ/㎡・年)	判定
			$(A+C)/B \leq 0.8$

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

完了実績報告書（様式13）記入例  
 <評価基準型・単価積上方式>

様式13

事業タイプ 評価基準型	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号				
	29	-	1	2	3	4	5	6	7	8	-	1	0	0	1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

建築士による工事内容確認書

本報告に係る住宅リフォーム工事について、下記日付の現地確認において、  
 チェックシート※及び様式14の工事写真の通り実施されたことを証明します。  
 様式11に記載の住宅の所在地と  
 同じであることを確認してください

証明する住宅

住宅の所在地 (住居表示)	〇〇 都道府県 〇〇市〇〇区〇〇町●丁目〇
建物名称	部屋番号

共同住宅の場合は、マンション名などの  
 建物名称を入力してください

現地確認日

平成 30 年 2 月 6 日

現地でリフォーム  
 工事内容を確認した  
 日を入力してくだ  
 さい

証明する建築士個人の印です。↓

資格	(一級)建築士 (国土交通大臣)登録 第 〇〇〇〇〇〇 号	印
氏名	△△ □□	
建築士事務所	(一級)建築士事務所 (〇〇県)知事登録 第 ●-〇〇 号	
建築士事務所名	〇〇株式会社一級建築士事務所	
所在地	〇〇 都道府県 〇〇市〇〇区〇〇町▲丁目〇	

建築士事務所の法人印ではなく  
 建築士の個人印を押印してください

※チェックシート：事業タイプに応じた次の様式の「工事完了時建築士チェック欄」

事業タイプ	チェックシートの様式
評価基準型（単価積上方式）	様式 8
評価基準型（補助率方式）	様式 5、様式 5 の 2
認定長期優良住宅型（単価積上方式）	様式 8 の 2
認定長期優良住宅型（補助率方式）	様式 5、様式 5 の 2
高度省エネルギー型	様式 5、様式 5 の 2
提案型（単価積上方式）	様式 8
提案型（補助率方式）	様式 5、様式 5 の 2
提案型（長期優良住宅（増改築）認定を取得）（単価積上方式）	様式 8 の 2
提案型（長期優良住宅（増改築）認定を取得）（補助率方式）	様式 5、様式 5 の 2

工事内容の確認で  
 使用する様式です  
 交付申請時に作成  
 した最終版の様式  
 を使用してください

(注意事項)

1. 建築士がリフォーム工事内容を確認し、本事業の工事内容の確認に要する費用を補助対象とする場合は、建築士事務所として登録されている事務所に所属している必要があります。
2. 建築士が工事内容の確認を実施可能とする住宅は建築士法第3条から第3条の3に基づき、保有資格ごとに設計・監理できる住宅とします。
3. 工事内容確認書を作成するにあたり、故意又は重大な過失による虚偽の記入・証明、未確認での記入・証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることがあります。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H29】長期優良住宅化リフォーム推進事業



完了実績報告書（様式8）記入例  
 <評価基準型・単価積上方式>

交付申請時に作成した最終版、変更に関する手続きを行った場合はその際に作成した最終版の様式を使用してください

事業タイプ 評価基準型	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号				
		2 9 -	1	2	3	4	5	6	7	8	-	1	0	0	1

リフォーム後の住宅性能に係る基準等の適合状況確認書及び単価積上方式による補助対象工事費の算出表

「評価基準への適合状況」欄の各チェック項目及び番号等は、平成29年度長期優良住宅化リフォーム推進事業 住宅性能に係る評価基準に対応しています。  
 評価基準を参照のうえ、該当する項目のチェック、記入を行ってください。評価基準型で申請する場合には、本様式を技術的審査時及び交付申請時に必ず提出してください。

- (記載上の注意)
- 適合確認書及びリフォーム後の住宅性能に係る評価基準の適合状況確認書は、当該住宅について設計・工事監理ができる建築士免許を有する建築士が申請内容を確認のうえ作成してください。本適合状況確認書において、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となります。
  - リフォーム後の住宅性能が、評価基準の認定基準又は評価基準に適合する場合は、「評価基準への適合状況」の該当する項目にチェック(■)し、判断に要した方法・資料等を「0. 適合性確認に要した資料等(複数選択可)」欄に記載のうえ、適・否の判定を行ってください。
  - 「●」欄のチェックは必須です。
  - 「リフォーム工事の種類」の「特定性能向上リフォーム工事(以下、「特定性能」)」や「その他性能向上リフォーム工事(以下、「その他性能」)」をチェック(■)し、「補助対象となる性能向上リフォーム工事」の「数量」を入力すると、補助対象工事費 記入欄の「特定性能向上工事」「その他性能向上工事」の欄に自動計算されます。
  - 本様式(様式8)は交付申請時と完了実績報告時に提出します。確実に、交付申請時のデータを保存し、完了実績報告時に提出してください。なお、交付申請時は「工事完了時建築士チェック欄」は未記入としてください。

0. 適合性確認に要した資料等(複数選択可) ※適合性確認に要した資料(写し)は技術的審査時に提出してください。

19「リフォーム後の住宅性能に係る基準適合状況確認書」で建築士が適合確認のために用いた図書等			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 確認通知書(新築時・増築時)	<input type="checkbox"/> ⑤ コンクリート調査表等	<input type="checkbox"/> ⑨ 省エネ計算書	<input type="checkbox"/> 13 特別評価方法認定書
<input checked="" type="checkbox"/> ② 検査済証(新築時・増築時)	<input type="checkbox"/> ⑥ 中性化深さ測定結果	<input type="checkbox"/> 10 カタログ	<input type="checkbox"/> 14 第三者機関による任意評定書
<input type="checkbox"/> ③ 建築確認台帳記載事項証明書	<input type="checkbox"/> ⑦ 塩化物イオン量測定結果	<input checked="" type="checkbox"/> 11 現況検査チェックシート	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> ④ 登記簿謄本	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 耐震診断書・構造計算書	<input type="checkbox"/> 12 維持保全計画書	<input type="checkbox"/> その他
19・20「リフォーム工事箇所、工事内容、工事の数量がわかる図面」・21「リフォーム工事前の平面図」等			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 平面図(既存、計画)	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 仕上表(既存、計画)	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦ 構造詳細図	<input type="checkbox"/> その他 開口部比率算出根拠
<input checked="" type="checkbox"/> ② 立面図(既存、計画)	<input type="checkbox"/> ⑤ 仕様書	<input type="checkbox"/> ⑧ 設備図	<input type="checkbox"/> その他
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 断面図(既存、計画)	<input type="checkbox"/> ⑥ 伏図	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨ 面積表	<input type="checkbox"/> その他

1. 構造躯体等の劣化対策 (構造別)	住宅性能等 記入欄 (建築士による確認)		補助対象工事費 (自動計算)		工事完了時 建築士 チェック欄
	性能項目単位 でチェック(■)→	リフォーム後に 評価基準に適合	補助対象となる性能向上リフォーム工事	補助工事単価	
※「適用する評価基準」にはリフォーム前の状況を記入してください。 ※「評価基準への適合状況」の「リフォーム前の性能」は、該当する評価基準すべてについてチェック(■)を入れてください。	● 評価基準への適合状況 リフォーム前 リフォーム後 リフォーム の性能 の性能 工事の種類	● 特定性能 ■ その他性能 □ 補助対象外 □ 工事なし	3,031,801 240,000	2,640,000 240,000	
<b>【木造】 適用する評価基準</b>					
a~jに適合 部位ごとに、外壁の軸組等のうち地面からの高さ1m以内の部分が次の(1)~(6)のいずれか (1) 外壁通気構造等 (2) 軸組等に防蟻・防蟻処理 (3) 以下の範囲で防蟻・防蟻処理+維持保全の強化★ ・床下空間に露出している部分 ・増築又は改築の工事に露出する部分 (4) 柱の小径 ( ) cm ≧ 12.0cm (5) 樹種 ( ) (6) 同等の措置 具体的な内容( ) 増改築認定基準の場合は以下も含む ・K3相当以上の防蟻・防蟻処理	<input type="checkbox"/> (1) <input checked="" type="checkbox"/> (1) <input type="checkbox"/> 特定性能 <input checked="" type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> その他性能 <input type="checkbox"/> (3) <input type="checkbox"/> (3) <input type="checkbox"/> 補助対象外 <input type="checkbox"/> (4) <input type="checkbox"/> (4) <input type="checkbox"/> 工事なし <input type="checkbox"/> (5) <input type="checkbox"/> (5) <input type="checkbox"/> (6) <input type="checkbox"/> (6) <input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> 否	外壁通気構造化 200.00 m <sup>2</sup> 外壁通気構造化(カパー工法) 6.600 m <sup>2</sup> 防蟻・防蟻薬剤塗布 40.00 m <sup>2</sup>	13,200 円/㎡ 6,600 円/㎡ 1,800 円/㎡	2,640,000 0 72,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
次の(1)、(2)のいずれか (1) 水切り設置 かつ以下の①~④のいずれか ① K3相当以上(北海道、青森県ではK2以上) ② 樹種※ ( ) ※D1の樹種のうち、ヒキ、ヒ、ベ、その他これらと同等の耐久性を有する製材又は集成材 ③ 外壁通気構造等かつ以下の範囲で防蟻・防蟻処理+維持保全の強化★ ・床下空間に露出している部分 ・増築又は改築の工事に露出する部分 ④ ①~③と同等の措置 具体的な内容( ) (2) 以下の範囲で防蟻・防蟻処理(北海道、青森県を除く)+維持保全の強化★ ・床下空間に露出している部分 ・増築又は改築の工事に露出する部分	<input type="checkbox"/> (1)① <input type="checkbox"/> (1)① <input type="checkbox"/> 特定性能 <input type="checkbox"/> (1)② <input type="checkbox"/> (1)② <input type="checkbox"/> その他性能 <input checked="" type="checkbox"/> (1)③ <input type="checkbox"/> (1)③ <input type="checkbox"/> 補助対象外 <input type="checkbox"/> (1)④ <input type="checkbox"/> (1)④ <input type="checkbox"/> 工事なし <input type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> (2) <input checked="" type="checkbox"/> 否	防蟻・防蟻薬剤塗布 50.00 m <sup>2</sup>	1,800 円/㎡	90,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
次の(2)、(3)、評価基準「a.外壁の軸組等」の(1)~(6)のいずれか (2) 浴室ユニット (3) (2)と同等の防水上有効な措置 ・評価基準「a.外壁の軸組等」の(1)~(6)のいずれか ※外壁以外の間仕切り壁、床などについても記入してください。	<input checked="" type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> 特定性能 <input type="checkbox"/> (3) <input type="checkbox"/> (3) <input type="checkbox"/> その他性能 <input type="checkbox"/> a.外壁軸組等(1)~(6) <input type="checkbox"/> 補助対象外 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 工事なし	ユニットバス化※ 1 箇所 ※1住戸1箇所のみ (ただし、三世帯同居改修工事は除く) 防蟻・防蟻薬剤塗布 m <sup>2</sup>	240,000 円/箇所 1,800 円/㎡	240,000 0	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
次の(1)、(3)、評価基準「a.外壁の軸組等」の(1)~(6)のいずれか (1) 防水上有効な仕上げ (3) (1)と同等の防水上有効な措置 ・評価基準「a.外壁の軸組等」の(1)~(6)のいずれか ※外壁以外の間仕切り壁、床などについても記入してください。	<input type="checkbox"/> (1) <input type="checkbox"/> (1) <input type="checkbox"/> 特定性能 <input type="checkbox"/> (3) <input type="checkbox"/> (3) <input type="checkbox"/> その他性能 <input type="checkbox"/> a.外壁軸組等(1)~(6) <input type="checkbox"/> 補助対象外 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 工事なし	壁:ビニルクロス貼り m <sup>2</sup> 床:塩ビシート貼り m <sup>2</sup> 壁:耐水化粧合板貼り m <sup>2</sup> 床:耐水フローリング貼り m <sup>2</sup> 防蟻・防蟻薬剤塗布 6.00 m <sup>2</sup>	1,500 円/㎡ 5,700 円/㎡ 5,100 円/㎡ 9,900 円/㎡ 1,800 円/㎡	0 0 0 0 10,800	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

最終版の記載情報から変更がある場合は変更に関する手続きが必要を確認するため速やかに支援室までご連絡ください。詳しくはマニュアル「VI.交付申請額等の変更について」をご参照ください。

リフォーム工事完了後に建築士が現地確認等の上、最終版の記載情報のとおりリフォーム工事が行われているかチェックをしてください。「工事なし」で申請している欄のチェックは不要です

事業タイプ 評価基準型	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号				
		2	9	-	1	2	3	4	5	6	7	8	-	1	0

〇三世帯同居対応改修工事 ※増設する箇所ごとに、チェック(■)をいれてください。 ※改修工事箇所がわかるように設計図に記載してください。また、玄関の増設工事については工事費の内訳書にも下記に記載した改修工事箇所が特定できるようにしてください。	住宅性能等 記入欄 (建築士による確認)			補助対象工事費 (自動計算)			工事完了時 建築士チェック欄	
	評価基準への適合状況			補助工事単価		三世帯同居 計		
	リフォーム前 の数	リフォーム後 の数	増設する 数	単位	600,000			
調理室の増設 工事	<input type="checkbox"/> ミニキッチン以外のキッチンを設置するもの <input checked="" type="checkbox"/> ミニキッチンを設置するもの ※1 ※1 リフォーム後にミニキッチン以外の一般的なキッチン有する調理室があること。	1 箇所	2 箇所	1 箇所	690,000 円/箇所 300,000 円/箇所	300,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
浴室の増設工 事	<input type="checkbox"/> 浴槽を設置し、給湯設備を設置するもの <input type="checkbox"/> 浴槽を設置し、給湯設備を設置しないもの <input type="checkbox"/> 浴槽を設置しないもの(シャワーを設置するもの) ※2口 ※2 リフォーム後に浴槽を有する浴室が設置されていること。	1 箇所	0 箇所	0 箇所	690,000 円/箇所 690,000 円/箇所 390,000 円/箇所		<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
便所の増設工 事	<input checked="" type="checkbox"/> 便所の設置	1 箇所	2 箇所	1 箇所	300,000 円/箇所	300,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
玄関の増設工 事	<input type="checkbox"/> 地上階に玄関を増設するもの ⇒土間の面積 m <sup>2</sup>	1 箇所	0 箇所	0 箇所	①～⑦の合計		↓実工事費を入力してください 円/箇所 円/箇所 円/箇所 円/箇所 円/箇所 円/箇所 円/箇所 円/箇所	
	<input type="checkbox"/> 地上階以外の階に玄関を増設するもの ⇒土間の面積 m <sup>2</sup>	1 箇所	0 箇所	0 箇所	①～⑧の合計			
	番号	対象となる工事の内容						
	①	<input type="checkbox"/> 玄関ドア設置工事	<input type="checkbox"/> 開口部の躯体工事					
	②	<input type="checkbox"/> 玄関土間敷設工事						
	③	<input type="checkbox"/> 電気工事	<input type="checkbox"/> 照明設備工事	<input type="checkbox"/> インターホン設置工事				
	④	<input type="checkbox"/> 内装・下地工事						
	⑤	<input type="checkbox"/> 下駄箱、手すり等の設置工事						
	⑥	<input type="checkbox"/> 郵便受け設置工事						
⑦	<input type="checkbox"/> その他工事 ( )							
⑧	<input type="checkbox"/> 上層階玄関等への外階段設置工事							

単価積上方式による補助対象工事費の算出表 (共通)

【性能向上等リフォーム工事費の合計】		住宅性能等 記入欄 (建築士による確認)		補助対象工事費 (自動計算)			工事完了時 建築士チェック欄			
補助対象となる性能向上等リフォーム工事		工事の内容		数量	補助工事単価	特定性能計(a)		その他性能計(b)	補助対象工事費(a+b)	
性能項目別の リフォーム工事	1.	構造躯体等の劣化対策				3,031,801	240,000	3,271,801		
	2.	耐震性				395,600		395,600		
	3.	省エネルギー対策				452,700	0	452,700		
	4.	維持管理・更新の容易性				201,000	0	201,000		
	5.	高齢者等対策								
	上記以外の、その他性能向上等リフォーム工事	インスペクションでの指摘事項への対応	外壁塗装	m <sup>2</sup>	1,800	円/m <sup>2</sup>		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
		外壁補修(外装材の張り替え)	m <sup>2</sup>	6,600	円/m <sup>2</sup>		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		屋根塗装	m <sup>2</sup>	1,800	円/m <sup>2</sup>		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		屋根補修	m <sup>2</sup>	600	円/m <sup>2</sup>		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		防水工事	m <sup>2</sup>	10,800	円/m <sup>2</sup>		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		コーキング打ち替え	m	600	円/m		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		クラック補修	m	1,200	円/m		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		屋根張り替え(下地含む)	m <sup>2</sup>	10,500	円/m <sup>2</sup>		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		屋根張り替え(下地含まず)	m <sup>2</sup>	7,200	円/m <sup>2</sup>		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		雨樋交換	m	1,800	円/m		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	軒天・軒裏張り替え	m <sup>2</sup>	2,400	円/m <sup>2</sup>		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否		
	省エネルギー対策 その他性能向上工事	高断熱浴槽設置 ※1住戸1箇所のみ	1 箇所		180,000				180,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
		節水型トイレ 交換 ※1住戸1箇所のみ	1 箇所		87,000	円/箇所		87,000	87,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
		節湯水栓	1 箇所		18,000	円/箇所		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
		手すり設置(L型手すり)	1.5 m		9,000	円/m		13,500	13,500	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
高齢者等対策 その他性能向上工事	手すり設置(L型手すり)	2 本		16,500	円/本		33,000	33,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	手すり設置(回り階段手すり)	1 本		51,900	円/本		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	床段差解消	1 箇所		29,100	円/箇所		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	屋外スロープ(玄関アプローチ)設置	1 箇所			円/箇所		0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
性能向上等リフォーム工事費の合計(X')→						4,081,101	553,500	4,634,601		
上記から、千未満切捨て(X)→						4,081,000	553,000	4,634,000		
【三世帯同居対応改修工事費の合計】		調理室の増設工事						300,000		
三世帯同居対応改修工事		浴室の増設工事						0		
		便所の増設工事						300,000		
		玄関の増設工事						0		
三世帯同居改修工事費の合計(Y)→								600,000		
上記から、千未満切捨て(X)→								600,000		
【補助対象工事費の合計】						補助対象工事費の合計(X+Y)→			5,234,000	

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

変更がある場合、自動計算の結果が正しく反映されているか、必ず確認してください

変更がある場合、様式9に転記されているか、必ず確認してください



完了実績報告書（様式14）記入例  
 <評価基準型・単価積上方式>

- ・工事写真は全箇所必ず撮影すること。工事箇所の写真が1枚で入らない場合、1枚で特定できない場合は、様式を複数枚使用して作成すること。
- ・リフォーム工事箇所毎に、リフォーム着手前、施工中、完了後の写真が必要です。
- ・工事写真には看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載すること。また、何の工事の写真か、どこを工事したか分かるように、遠景、近景を撮影すること。
- ・サッシ交換など、同じ工事が複数ある場合は、全箇所を写真に記録し、完了実績報告時には、その内3箇所程度を選定し提出します。その他の写真は、審査時に必要に応じて提出を求める場合があります。

単価積上方式の場合は空欄として結構です。

撮影箇所の着手日を入力してください

事業タイプ 評価基準型	交付申請番号	年度	事業者番号								住宅番号						
		2	9	-	1	2	3	4	5	6	7	8	-	1	0	0	1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

リフォーム工事箇所の工事写真

この様式はリフォーム工事箇所1箇所につき1枚作成してください。

工事箇所番号	リフォーム工事箇所	当該部分の着手日
	1通り、い～る間の軸組み	平成29年 8月12日
着手前	工事内容の説明等 室内の内壁撤去前	撮影日 平成29年8月10日
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;">                 着手前の写真 (遠景)             </div> <div style="border: 1px solid black; margin-top: 5px; padding: 2px;">                 ○○邸 1、い～る内壁撤去前 H29.8.10             </div>		写真貼付け ・看板等により、現場名、撮影日が確認できる情報を写し込むこと ・リフォーム工事の内容等が確実に分かる写真であること ・写真の縦・横の比率を変えないこと
施工中	工事内容の説明等 筋交いの取付、金物取付	撮影日 平成29年8月28日
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;">                 施工中の写真 (遠景)             </div> <div style="border: 1px solid black; margin-top: 5px; padding: 2px;">                 ○○邸 1、い～る筋交い取付中 H29.8.28             </div>		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;">                 施工中の写真 (近景)             </div> <div style="border: 1px solid black; margin-top: 5px; padding: 2px;">                 ○○邸 1、い～る筋交い取付中 H29.8.28             </div>
完了後	工事内容の説明等 内装復旧後	撮影日 平成29年9月20日
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;">                 工事完了後の写真 (遠景)             </div> <div style="border: 1px solid black; margin-top: 5px; padding: 2px;">                 ○○邸 1、い～る筋交い取付後 H29.9.20             </div>		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;">                 工事完了後の写真 (近景)             </div> <div style="border: 1px solid black; margin-top: 5px; padding: 2px;">                 ○○邸 1、い～る筋交い取付後 H29.9.20             </div>

リフォーム工事の内容等が確実に分かる写真としてください

現場名、日付入の工事看板を入れて撮影してください

- <留意事項>
1. 工事写真は全箇所必ず撮影してください。リフォーム工事箇所毎に、リフォーム工事前、工事中、施工後の写真が必要です。
  2. 工事写真には看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載してください。また、何の工事の写真か、どこを工事したか分かるように、遠景、近景を用いて撮影してください。
  3. リフォーム工事を実施したことが確認できない場合は、補助金が交付できない、または減額となります。
  4. 記入等は黄色いセルの部分のみとしてください。白いセルの部分は編集しないでください。
- (注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

完了実績報告書（様式9）記入例  
 <評価基準型・単価積上方式>

補助対象工事が含まれる契約のみ契約額を入力してください

記載内容に変更がある場合は  
 提出してください

変更契約があった場合は  
 契約額を追加入力し、変  
 更契約書と内訳書、変更  
 後の図面等を提出してく  
 ださい

様式9

事業タイプ 評価基準型	交付申請番号	年度	事業者番号	住宅番号
	29-12345678-1001			

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

交付申請額算出表（単価積上方式用）

※交付申請番号、様式8、8の2が未入力  
 の場合は交付申請額が計算されません。

工事請負契約等の額（消費税抜）		補助限度額ごとに活用する住戸数	
単位：円		単位：円	
補助対象工事費(工事費、インスペクション等)を含む 契約書等の契約額を契約書ごとに入力してください。		事業タイプに応じて補助対象とする工事に該当する欄に 住戸数を入力してください。	
契約の種類	契約額 (円)	事業タイプ	評価基準型 提案型
①: 工事請負契約(インスペクション等が含まれていても可)	15,156,100	性能向上 のみ	認定長期 優良住宅型 提案型
②: ①以外の契約	380,000		高度 省エネルギー型
③: ①②以外の契約	(156,000)		
④: ①③以外の契約			
⑤: ①④以外の契約			
⑥: ①⑤以外の契約			
⑦: ①⑥以外の契約			
契約額の合計	15,380,100	補助対象住戸数	1
		補助限度額の合計	1,000千円A
			500千円B

インスペクション等の費用（消費税抜）		補助対象額の算定		補助対象額	
単位：円		単位：円		単位：円	
補助対象とする場合は、該当する項目の補助対象額の欄に 契約書等の金額を入力してください。		補助対象額の算定		補助対象額	
補助対象となる費用	契約額 (円)	補助対象額の 上限(戸当たり)	補助対象額 の上限(2)	①②の 何れか低い額	
インスペクション費用★	30,000	150,000	150,000	30,000	
リフォーム計画の作成費用	10,000	60,000	60,000	10,000	
建築士による適合確認費用★	55,000	60,000	60,000	55,000	
長期認定取得に要する費用		60,000	60,000	0	
BELS評価書取得に要する費用		30,000	30,000	0	
建築士による工事内容確認費用★	30,000	60,000	60,000	30,000	
維持保全計画書作成費用	10,000	30,000	30,000	10,000	
リフォーム瑕疵保険の保険料(検査料含む)	49,000	30,000	30,000	30,000	
合計	184,000			165,000	

契約額から求める上限（消費税抜）	
契約額に応じた補助対象工事費率	0.30
(契約額の合計 - J1) / 1000 × 補助対象工事費率 × 補助率 (1/3)	R2 1,519千円

交付申請額の算出		補助上限の比較	
単位：千円		単位：千円	
項目	補助事業に要する経費	申請額算定用小計	補助上限の比較
特定性能向上リフォーム工事費	C3 (様式8、8の2より) 4,081 (千円)	E2 = C3 × 1/3 1,360 (千円)	単価による積み上げ
その他性能向上リフォーム工事費	F3 (様式8、8の2より) 553 (千円)	F4 = F3 × 1/3 184 (千円)	P: [A]か[E2+H2]の いずれか低い額
インスペクション等に要する費用	J3 (単位変換: J2/1000) 165 (千円)	J = J3 × 1/3 55 (千円)	Q: [B]か[M2]の いずれか低い額
性能向上リフォーム工事 (合計)	K1 = C3 + F3 + J3 4,799 (千円)	R2 = E2 + H2 + J 1,599 (千円)	R1 = P + Q 1,200 (千円)
三世代同居改修工事	M3 (様式8、8の2より) 600 (千円)	M2 = M3 × 1/3 200 (千円)	R2 1,519 (千円)
合計	I = K1 + M3 5,399 (千円)		交付申請額の算出
			R1が低い場合 S1: [A]か[P+J]の いずれか低い額 + Q 1,200 (千円)
			R2が低い場合 S2: [S1]か[R2+J]の いずれか低い額 1,200 (千円)
			交付申請額 S: S1又はS2以下 1,200 (千円)

様式8から転記され  
 ているか必ず確認  
 してください

補助対象事業費  
 は増額するが、  
 補助額を増額し  
 ない場合は、こ  
 の欄は交付申請  
 時の額を入力し  
 てください  
 変更がある場合  
 様式11の「補助  
 金の精算額」欄  
 に転記してくだ  
 さい

1. 消費税等は除いた額を記入してください。  
 2. 千円未満は、切り捨て処理としてください。  
 3. その他性能向上リフォーム工事の補助額 (H2) は特定性能向上リフォーム工事の補助額 (E2) を超えることはできません。  
 (注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。